

読響

YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

魂の慟哭、その先の希望へ。

涙を誘う美しいメロディ、胸に迫る重厚なサウンド！
鬼才・上岡がチャイコフスキーの最高傑作を披露

読売日本交響楽団 第247回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 247

2022年 **5月28日** (土)
Saturday, 28 May 2022

読売日本交響楽団 第247回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 247

2022年 **5月29日** (日)
Sunday, 29 May 2022

両日とも **14時開演** 東京芸術劇場
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

ザールラント州立歌劇場音楽総監督、
ヴッパータール響首席指揮者などの要職を歴任。
現在はコペンハーゲン・フィル首席指揮者を務め、
音楽だけに命を注ぐ孤高の芸術家

指揮= **上岡敏之**
Conductor= TOSHIYUKI KAMIOKA

©読響



メンデルスゾーン：序曲「ルイ・ブラス」 作品95
MENDELSSOHN: "Ruy Blas" Overture, op. 95

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
MENDELSSOHN: Violin Concerto in E minor, op. 64

チャイコフスキー：交響曲第6番 ロ短調 作品74 「悲愴」
TCHAIKOVSKY: Symphony No. 6 in B minor, op. 74 "Pathétique"

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時~18時)
年中無休

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

<https://yomikyo.or.jp/>

ドイツのヴァイオリンの伝統を受け継ぐ名手。
澄んだ音色と気品に満ちた演奏で、聴衆を魅了する！

ヴァイオリン= **レナ・ノイダウアー**
Violin= LENA NEUDAUER

©Denise Krentz

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

ドイツを拠点に欧州で活躍する鬼才・上岡敏之が、メンデルスゾーンの二つの名曲とチャイコフスキーの最高傑作と呼び声が高い「悲愴」を披露します。

悲しみは、乗り越えられる。 上岡敏之が振るチャイコフスキー「悲愴」

61歳となった上岡敏之が、久々に読響の指揮台に上がる注目公演。コンサートは、メンデルスゾーンの序曲「ルイ・プラス」で開幕します。フランスの劇作家ヴィクトル・ユゴーによる同名の戯曲のための序曲として書かれた作品で、荘厳なファンファーレ風のコーラルで始まり、緊迫感が漂いながらも活気に満ちた音楽が特徴的です。上岡のタクトは、この短い序曲からもドラマティックな物語性を生み出すでしょう。

2曲目は、ドイツを代表する名手ノイダウアーの独奏で、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を披露します。ミュンヘン生まれのノイダウアーは、ツェルトマイヤーやポッペンに学んだドイツ正統派のヴァイオリニストです。世界でも広く愛されている有名な協奏曲を弾き、様式美の中に程よいバランスで感情を織り交ぜた品格ある演奏を聴かせてくれるでしょう。どうぞ、ご期待ください。

後半に演奏するのは、チャイコフスキーの傑作「悲愴」。美しく切ないメロディから“魂の慟哭”のような感情の爆発まで、チャイコフスキーの音楽は人生の全てを語り尽くしています。上岡にとって「悲愴」は、ヴァン・クライバーンとの録音で高い評価を得たほか、数々のオーケストラと繰り返し演奏している得意な作品です。しかし、その都度新しいスコアを用意して臨んでいる上岡の解釈は常に変化しており、毎回様々な発見をもたらし、新たな感情を抱かせてくれます。長く続くコロナ禍や新たな戦争が起こる今、上岡の「悲愴」が私たちに何を感じさせてくるのか、興味は尽きません。



©武蔵野



©Denise Krentz

上岡敏之 (指揮) Toshiyuki Kamioka, Conductor

コペンハーゲン・フィルの首席指揮者を務め、ドイツを拠点に活躍する鬼才。独自の解釈で作品の核心へと迫る大胆な表現で、聴衆の心を驚愕みにしている。東京芸大卒業後に渡独、ハンブルク音大で学び「劇場叩き上げ」指揮者としてキール市立劇場でキャリアを始めた。エッセン歌劇場を経て、ヴィースバーデンのヘッセン州立歌劇場音楽総監督、北西ドイツ・フィル首席指揮者、ザールラント州立歌劇場音楽総監督、ヴァン・クライバーン市立歌劇場の音楽総監督兼インテンダント、新日本フィルの音楽監督などを歴任。ザールブリュッケン音大指揮科正教授として後進の指導にあたる。読響には1998年の初登場以来、度々客演。《読響アンサンブル・シリーズ》でもピアノを弾き、読響メンバーと室内楽でも共演を重ねている。

レナ・ノイダウアー (ヴァイオリン) Lena Neudauer, Violin

ドイツを代表する正統派ヴァイオリニスト。ミュンヘン生まれ。10歳でオーケストラと初共演。ツェルトマイヤー、ポッペンの下で研鑽を積み、チュマチェンコ、五嶋みどり、小澤征爾らからも影響を受ける。若い頃から国際的に活躍し、1999年にレオポルト・モーツァルト国際コンクールで優勝。ヤンソンス、D.R.デイヴィス、ヴェンツァーゴ、リントウ、マナコルダ、ゲーベルら名匠の指揮で、ベルリン・コンツェルトハウス管、ライプツィヒMDR響、ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィル、ミュンヘン室内管、ベルギー国立管、アンサンブル・アンテルコンタンポランなどと共演。数々の録音でICMA賞など国際的な賞を受賞。16年からミュンヘン音楽大学教授。今回、読響に初登場。

読売日本交響楽団 第247回 土曜マチネーシリーズ

2022年 **5月28日** (土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第247回 日曜マチネーシリーズ

2022年 **5月29日** (日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観覧】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付:平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296